

こんな声がありました!

豆腐がしわしわになっています。

「冷蔵庫でも凍っちゃう?のお話」



おみそ汁作るから、冷蔵庫からお豆腐出してちょうだい。

はい...あれ? このお豆腐しわしわになってる!

ほんとだ、なんでこんなに なっちゃったのかな。

教えて、はかせ!



これは一度凍ったんじやの。冷蔵庫でも凍ってしまうことがあるんじや!

冷蔵庫は冷たい空気を吹き出し口から循環させることで、冷蔵庫内を冷やしています。吹き出し口から出る冷たい空気が、直接食品にあたり続けると、凍ってしまうことがあります。特に夏は、冷蔵庫の扉を開けるたびに中に暑い空気が入り、食品の温度も高めなので、庫内の温度を一定に保つために冷気の吹き出し方が強くなります。豆腐など水分の多い食品は、吹き出し口付近をさけて保存しましょう。



凍るとこんなにしわしわに!

凍ってしまった食品は...

一度、凍った食品を食べても問題はありますが、見た目だけでなく、食感もとに戻らないことがあります。例えば、凍ってしまったプレーンヨーグルトは、解凍すると分離して水っぽくなり、本来の食感、風味がなくなります。意外なものでは、みつ豆缶詰に入った寒天も、一度凍ってしまうとボロボロとした食感となってしまいます。



(分離したヨーグルト)

豆知識

凍らせて作る食品もあります凍ると食感が変わる、このような作用を利用して作る食品もあります。こうや豆腐は「凍り豆腐」とも呼ばれており、凍らせた豆腐を解凍、乾燥させることで、スポンジ状の組織を作っています。このスポンジ状の組織が、こうや豆腐特有の食感となります。このほかにも、凍みだいこん、凍みこんにやくなどがあります。



毎日お世話になっている冷蔵庫、上手に使わなくちゃね!



CO-OP 掲示板

第14回(2023年度)地域活動助成金 採択団体紹介

コープいしかわ地域活動助成金とは...

社会福祉、環境保全、国際協力、まちづくりなどの地域に貢献する活動を行う各種団体を応援しています。2010年に創設されました。20万円を上限に毎年5団体へ助成しています。

一般社団法人Try Angle(金沢市)



生きるためにたんの吸引や胃ろう、人工呼吸器などを使用している「医療的ケア児」とその家族の外出や旅行を支援しています。障害や病気の有無に関わらず誰もが安心して旅行を楽しめる社会の実現を目指し支援しています。

代表理事:須田 麻佑子
https://try-angle.org/



北陸きょうだい会(石川県)



「きょうだい」とは、障害のある兄弟姉妹がいる人たちのことを言います。「きょうだい」は家庭や社会生活の中で自己肯定感が低下する場合があります。イベントを通して自分は愛される存在で1人ではないことを実感できるよう活動を行っています。

共同代表:松本 理沙・金山 敦
https://hokuriku-kyodai.org/



いしかわ赤ちゃん王国プロジェクト(金沢市)



料理を作ることの大切さ、みんなで食べることの楽しさを学ぶ産前産後生活支援活動の「お母さん食堂」の他、みんなで協力して晩ご飯の料理を作り持ち帰る「シェアキッチン」、子育て相談などを実施。

代表:丸山 貴之 インスタグラム
@the_baby_kingdom2



石川言友会(金沢市)



吃音症当事者の人々が共通の課題や問題についてお互いにサポートし、吃音症を持ちながらの生き方を確立していくことを目的として活動しています。吃音症に関する講演や体験発表会で、吃音症について周りの方の理解を深めます。

会長:野母 浩之
https://ishikawagyk.wixsite.com/my-site-4



子ども食堂 ちきそらごはん(野々市市)



不登校や社会との関わりが少ない子どもが調理や食事の配膳に関わることで、子どもが活躍する子ども食堂です。ボランティアの高齢者や引きこもりの若者にとつての居場所づくりとなることも目指して活動しています。

代表:畠山 千起
https://www.metadomainapp.site/



能登の復興や被災者の暮らしの再建を支援する団体に助成します

「コープいしかわ令和6年能登半島地震支援活動助成金」を新設

コープいしかわは、これまでの地域活動助成金に加え、被災地域の復興や暮らしの再建に取り組む団体を支援する助成金制度を新設しました。助成金は、全国の生協から寄せられた災害支援金を財源としています。

- 募集期間 2024年12月6日(金)まで
- 助成枠 最大10団体・1団体30万円上限
- 助成対象活動期間 申請日以降、2026年3月31日まで

助成対象や申請資格などの詳細・資料請求のお申し込みはホームページをご確認ください。



コープいしかわの姿

2024年4月1日~2024年8月31日

	予算	実績	前年
宅配事業供給高(億円)	55.9	56.1	57.7
店舗事業供給高(億円)	17.7	18.7	17.2
経常剰余金(万円)	-7,964	-3,925	-667

出資金:73億3,517万円(UP 5,975万円)
組合員数:167,544人(UP 183人)
(カッコ内は前月比)

8月度安全確認情報 (7月21日~8月20日 検査結果判明分)

検査名	検査実施数
新商品事前	192品
定例企画商品	301品
残留農薬検査	4品
DNA検査	1品
アレルギー検査	1品

組合員の環境貢献度(9月度)
商品カタログ回収率 **70.1%**
注文書袋・保冷箱内袋回収率 **20.9%**

理事会だより

2024年度 第5回 9月25日(水)開催

承認及び報告された主な議題は次の通りです。

決まったこと

- 1.8月度事業・経営報告 承認の件
 - 宅配事業では、組合員の安否確認を継続して行い、のと北部センター全体のカタログ配布は、震災前の69.5%まで回復しました。
 - お盆時期に合わせて「コープ宅配緊急連絡先登録」の呼びかけを行い903名の新規登録がありました。登録の組合員は累計で3,908名となりました。
 - 夏休みキッズイベントとして「あいさつカード」の取り組みを実施し、延べ1,667名のお子さんが参加され多くのキッズの笑顔が見られました。
 - デイサービスこーぶあいあいでは夏祭りの開催、グループホーム戸板では地域の盆踊り大会に参加するなどイベントを通して楽しい一時を過ごしました。
 - 「平和の旅ヒロシマ」を8月5日(月)~6日(火)に実施し、組合員とその家族8名が参加し、現地で被爆の実相を学びました。
 - 8月25日(日)にフードドライブを南加賀地域協議会で開催し6名から35点、6.4kgの食品が提供され、いしかわフードバンク・ネットを通して地域の社会福祉協議会に寄贈しました。
- 2.第2四半期まとめと第3四半期方針 承認の件

報告されたこと

- 1.能登豪雨災害対応状況などについて
- 2.コープいしかわキッチンカー導入について
- 3.新物流センター建設計画の見直しについて
- 4.志賀原廃炉の署名呼びかけなどを求める意見への対応について
- 5.第25回通常総代会 議事進行における課題対応について
- 6.秋の総代会議運営体制、資料及び進行について